

326号

2026年
5月

日赤みやぎ



想いの力を、
救う力に。

赤十字は、
動いてる！
with You

5月は赤十字運動月間です。
あなたの気持ちをカタチに

今年も赤十字講習開始から 100周年!!

これを記念して様々なイベントを実施します!

①赤十字講習100周年全国体験キャラバン

全国47都道府県支部で100周年仕様の講習人形やAEDを使った講習体験イベントを実施します!



②赤十字講習100周年記念モザイクアート

講習を受講された方や指導員など赤十字講習に関わってくださる方々の思い出が詰まった写真を全国から募集し、講習の歴史と人とのつながりを表したモザイクアートのポスターを製作しました。



この他にも様々なイベントを全国で実施する予定だガー!



～写真で振り返る 宮城県支部の講習の歴史～



救急法 赤十字思想生誕百周年救護訓練 (昭和34年5月 仙台市)



救急法 (昭和59年5月 藤崎)



水上安全法 (昭和60年6月 多賀城市)



老人家庭看護講習(家庭看護法) (昭和61年5月 山元町)

現在の講習事業の「源流」は、大正15年(1926年)12月23日、現在の講習の原型となる「衛生講習会」の実施を全国に通達したことに始まり、令和8年(2026年)12月に赤十字の講習事業は100周年を迎えます。

ちなみに各講習の歴史は・・・

- ・衛生講習会(現:救急法および健康生活支援講習) 1926年(大正15年)～
- ・水上救助法(現:水上安全法) 1933年(昭和8年)～
- ・家庭看護法 (現:健康生活支援講習および幼児安全法) 1946年(昭和21年)～
- ・スキーパトロール救急法(現:雪上安全法) 1959年(昭和34年)～
- ・幼児安全法 2000年(平成12年)～

令和8年度宮城県支部主催講習について

講習日程は / 申込(個人)は /
こちらから / こちらから /

令和8年度に短期講習を受講された方には講習100周年記念デザインの受講証を発行予定です↓

～宮城県キャラバン情報～

日時▶ 令和8年6月6日(土)10時～16時
会場▶ イオンモール仙台上杉 4階 KAMISUGI ONE PARK(屋内)
内容▶ 一次救命処置体験(成人・乳幼児)、救護服・看護実習衣お着替え体験、ハートラちゃんが登場するかも!?

宮城県支部のトピックス



石巻地区JRC加盟高校・トルコ赤新月社国際交流会 ～国境を越えて体験や防災活動を共有～

2月19日(木)、石巻地区青少年赤十字(JRC)加盟校の高校生とトルコ赤新月社職員の交流会が石巻高校で開かれました。同社のムラットさんがトルコ・シリア地震の被害状況や対応を説明し、石巻高校と石巻好文館高校の生徒は、学校で取り組む防災やJRCの活動を紹介しました。また、「JRCオンライン語り部LIVE」に参加し、防災意識の向上と将来の災害への備えにつなげました。

トルコ赤新月社の皆さんは、日本の防災教育が日常的に行われ生徒一人ひとりに根付いていること、それが子どもたち自身の命を守るための行動に結びついていることに感銘を受けられていました。

参加した生徒から「トルコは少し遠い存在だと思っていましたが、交流会で接することにより同じ赤十字のもとで活動する仲間だという意識が高まりました」と感想も寄せられました。



▲談笑中の様子



▲最後は参加者みんなでパチリ

JRCオンライン語り部LIVE

～東日本大震災の記憶と教訓を全国の子どもたちへ～

1月～2月にかけて、東日本大震災の記憶と教訓を子どもたちに繋ぐため、語り部さんのお話をオンラインで全国の青少年赤十字(JRC)加盟校の児童・生徒(小学校3・4年～高校生)に生配信する「JRCオンライン語り部LIVE 2025」を開催しました。

この事業は、東日本大震災から10年を迎えた2021年から毎年取り組んでおり、今年は全国24都道府県、延べ60校、3,755名が参加しました。

参加した児童からは、「語り部さんに聞いたお話を忘れずに、家族に伝えて、一緒に対策していきたいです」という感想が寄せられました。

また、先生から「実際に経験した方のお話を聞くことができたので、子どもたちが防災を『自分ごと』として考えるきっかけとなりました」という声が届きました。

当支部では子どもたちが語り部さんのお話を自分事としてとらえ、災害が起きた時には命を守る行動がとれるようになることを願い、今後もこの伝承事業を継続していきます。



▲生配信の様子



▲語り部さんのお話を真剣に聴く高校生

仙台89ERSとコラボ!



◀ティナと写真撮影

3月15日、パートナーシップ協定を締結しているプロバスケットボールチーム「仙台89ERS」の試合会場で事業紹介等のブースを出展しました。

今回は防災にかかる内容を中心に展開し、併せて能登半島地震、能登半島大雨にかかる災害義援金への協力を呼びかけ、100名を超える方から寄付協力がありました。ハートラちゃんのほか、仙台89ERSチームキャラクターティナにも呼びかけを手伝っていただきました。

また、防災教育にかかる動画「おうちの中のモンスター」を放映したところ、見入る子どもたちも見受けられ、日本赤十字社の活動について来場者へ知っていただけたと感じました。

※当日放映した動画の他、防災セミナーについては、以下のURL及び右のQRコードから確認できます。
<https://www.jrc.or.jp/saigai/about/seminar/>



▲観客席入口付近に出展

宮城県内施設のトピックス



救急救命訓練を実施しました!

当院では、3ヶ月に1回緊急事態を想定した救命訓練を実施しています。

今回はリハビリ中の患者さんが、急に意識消失した場合を想定して行いました。院内放送を聞き職員が参集し、声かけによる意識の確認、目視による呼吸の有無の確認ののち、胸骨圧迫からAED使用、安全の確保、正確な情報の把握などの実践練習しました。

また、万が一の状況において迅速かつ適切に対応できるよう毎月事務職員等を対象に赤十字救急法短期講習を行い、近くにいる職員がすぐに一次救命処置を行うための知識と技術を養っています。



▲2月3日 救急訓練の様子



▲3月12日 職員対象赤十字救急法短期講習の様子

石巻赤十字病院

原子力災害医療活動訓練を実施

2月12日(木)、地震発生に伴い東北電力株式会社女川原子力発電所で汚染・被ばく傷病者が発生したという想定の下、傷病者への対応訓練を実施しました。

当院に搬送された傷病者への除染および医療処置を施した後、さらに内部被ばくの疑いがある傷病者を仙台市の原子力災害拠点病院へ搬送するという一連の流れを検証しました。訓練に参加したスタッフは、防護具の着用や傷病者への対応手順についてひとつずつ確認していました。訓練後には意見交換が行われ、反省点や課題を抽出しました。

当院は、東北電力株式会社女川原子力発電所から30キロ圏内にある最も近い原子力災害拠点病院であり、汚染・被ばく傷病者への対応とそのための訓練や研修を行うことが義務付けられています。今後も関係機関と連携を図り定期的に訓練、研修を重ね、万が一の事態に備えてまいります。



▲汚染部位を検出するため傷病者を測定



▲汚染部位を除染する医療スタッフ

宮城県赤十字血液センター

デジタルサイネージで「THINK!献血」

日本赤十字社は令和7年度に献血推進プロモーション「THINK!献血」を全国展開しました(令和8年4月30日まで)。宮城県赤十字血液センターではその動画版を官公庁舎、運転免許センター、病院など全25か所に設置したデジタルサイネージでたくさんの方々にお届けしました。

♪今日誰かの力になれたかも そんな想いがわたしを元気にするよ♪

♪今日誰かに支えてもらったかも そんな気づきがぼくをやさしくするよ♪

献血の輪を広めましょう!!



▲市役所で流れる「THINK!献血」プロモーション

赤十字防災ボランティア 養成研修のご案内

「災害が増えているけど、何をすればいいかわからない」「地域の防災のために何かしたい」「ボランティアで体を動かしたい」とお考えの方、一般のボランティアとは一味違う「赤十字防災ボランティア」に登録してみませんか？

平時は訓練や研修に参加し、災害救護活動におけるノウハウを習得。災害や事故が発生した際には、赤十字防災ボランティアとして宮城県支部の活動に参加いただけます。

新たに登録ご希望の方、既に登録済の方、皆様のご参加をお待ちしております！

【登録・スキルアップ研修I】

- ①日程／令和8年6月、令和9年1月に各1回、1日研修を開催予定
- ②場所／日本赤十字社宮城県支部（仙台市泉区市名坂字石止44-7）
- ③内容／登録研修：日本赤十字社の紹介、赤十字防災ボランティアとは
スキルアップ研修I：登録いただいた方のみ。救急法、こころのケア研修

【スキルアップ研修II】

- ①日程／令和8年7月、令和9年2月に各1回、1日研修を開催予定
- ②場所／日本赤十字社宮城県支部（仙台市泉区市名坂字石止44-7）
- ③内容／テントの立て方、炊き出し釜・車両・支部社屋の使用する方法等

【お申込み】

開催日の1か月前から、当支部ホームページに
参加申込方法を掲載します。

【問い合わせ先】

日本赤十字社宮城県支部 事業推進課
TEL:022-725-7530



赤十字施設見学・体験会を 開催します！

令和5年10月に仙台市泉区へお引っ越しした宮城県支部。どんな場所なのか、何があるのか、見学・体験してみませんか？

皆様のご参加をお待ちしております！

日時／令和8年5月16日(土) 10:00～15:00

会場／日本赤十字社宮城県支部

(仙台市泉区市名坂字石止44-7)

体験内容／一次救命処置、ビューティーケア、
無線交信体験、救援物資・防災セミナーの
紹介、赤十字なりきり体験など

参加費／無料



事前申込みをされた方には
ささやかな記念品をプレゼント！
※当日飛び入り参加も大歓迎！

事前申込みはこちらから

※災害発生や気象状況、感
染症流行等で中止させて
いただく場合がございます。
すのでご了承ください。



お役立ち情報

非常食かんたんレシピ



アネちゃんの
かんたんごはん帳
Vol.36
袋で作るたらこクリームパスタ

非常時には新鮮な乳製品が入手できない事も考えられます。そんな時コーヒー用の粉末乳製品があれば代わり使えます。生乳のみから作られているものは風味もよく、水分量を調整すればクリームのように……。未開封なら18ヶ月も保存できます。たらこや明太子のふりかけも賞味期限が10ヶ月程度と、市販のパスタソースよりも保存期間が長く、ローリングストックにも適しています。こちらのたらこクリームスパゲティは、最低限の水量で作れ、鍋を汚さず、人数分に分ける必要もないので災害時にオススメです。100gずつ束になっているスパゲティ1束分と、500mlのペットボトルの水1/2本分を使うので、計量も簡単です。市販のソースを使用する際にもぜひお試しください。
※粉末乳を加えない時はサラダ油小さじ1を加える

アネ（牧野純子）
イラストレーター・FCAJ認定フードコーディネーター
仙台市在住 赤十字防災ボランティア
出版社、CM制作会社を経てフリーランスとして活動中

*材料（1袋 1人分）

- A 水…250ml(500mlのペットボトル1/2本)
- スパゲティ…100g(半分に折る)
- 粉末乳…大さじ2
- 塩…小さじ1/2(ふたつまみ程度)

※あれば昆布茶をひとつまみを加えるとより美味

B たらこor明太子のふりかけ…大さじ2

C ツナオイル漬け…35g(1/2缶)
きざみ海苔…適量 こしょう…適量

*作り方

1. Aを耐熱ポリ袋に入れ、空気を抜いて結ぶ。
2. 鍋にたっぷりの湯をわかし、1を入れる。再沸騰してからパスタの袋に書かれた茹で時間の通りに、沸騰した状態で加熱する。
3. 時間がきたら火を止め、トングなどで袋の上からパスタをほぐす。※袋の破損に要注意。茹で時間と同じ時間、そのまま鍋の予熱で更に加熱する。

※ポリ袋破損防止のため鍋底にザルや耐熱皿を入れる
※4で大さじ1の粉末乳を加えるとよりクリーミーに

